

特研修第1-11号
令和2年7月10日

関係各都道府県教育委員会教育長
関係各指定都市教育委員会教育長 殿

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
理事長 宍戸 和成
(公印省略)

令和2年度第二期特別支援教育専門研修（発達障害・情緒障害・言語障害教育コース）
の代替措置としての非集合型オンライン研修の実施について（通知）

当研究所の各種事業の実施に当たりましては、日頃よりご協力を賜り誠にありがとうございます。先般は、ご多用中のところ、派遣事務担当課のご協力により、標記研修の開催に関するアンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。アンケートにおいては、第一期特別支援教育専門研修は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、その開催を中止し、第二期特別支援教育専門研修についても、宿泊型として2ヶ月間のこれまでどおりの開催は困難と考えている旨お伝えしておりました。

大変遅くなりましたが、このアンケートや関係機関の状況を踏まえ、熟慮の結果、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、第二期特別支援教育専門研修は、代替措置として、非集合型オンライン研修としてホームページに、別紙「発達障害・情緒障害教育専門性向上講座（仮称）」及び「言語障害教育専門性向上講座（仮称）」を開設するなど、対応することとしました。

本代替措置は、インターネット接続環境があれば、いつでも視聴が可能ですが、受講者が研修に専念できるよう、教育委員会及び所属校等には、適切な受講環境及び研修時間の確保等について、特段の配慮をよろしくお願い申し上げます。

つきましては、このことについて、本研修に参加を予定していた教職員の関係教育委員会並びに参加予定の教職員の所属する学校及び当該教職員にご連絡願います。

なお、具体的な視聴方法等については、10月初旬開始に向けて、準備が整い次第、所属校等に、後日お知らせします。

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
総務部研修情報課研修支援室
室長：佐藤（敏）、研修係員：堀江
〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1
TEL：046-839-6889, 6888 FAX：046-839-6915
e-mail：a-kenshu@nise.go.jp

非集合型オンライン研修
「発達障害・情緒障害教育専門性向上講座（仮称）」の内容（案）

※いずれも現段階の案であり、変更となる可能性があります。

	講義タイトル例	講師
1	特別支援教育行政の現状と課題（共通）	文部科学省
2	喫緊の課題：外国人児童生徒等への教育の動向（共通）	外部講師（予定）
3	発達障害・情緒障害教育の現状と課題	文部科学省
4	特別支援教育における教育課程の在り方	研究所研究職員
5	特別支援学校の中心的機能を活用した発達障害のある子供の指導・支援	研究所研究職員
6	特別支援学級における自立活動の指導	研究所研究職員
7	発達障害のある子供の行動の捉え方と指導・支援の実際	研究所研究職員
8	自閉症の認知特性	研究所研究職員
9	読み障害の指導	研究所研究職員
10	発達障害のある子供の特性に応じた教材・教具の作成と活用	研究所研究職員
11	中学校・高等学校段階における発達障害のある生徒への指導・支援	研究所研究職員
12	発達障害者の就労支援	研究所研究職員
13	教育相談の実際	研究所研究職員
14	保護者との連携	研究所研究職員
15	コミュニケーションの指導	研究所研究職員

*各講義は、60分程度を予定

「言語障害教育専門性向上講座（仮称）」の内容（案）

	講義タイトル例	講師
1	特別支援教育行政の現状と課題（共通）	文部科学省
2	喫緊の課題：外国人児童生徒等への教育の動向（共通）	外部講師（予定）
3	言語障害教育の教育課程	文部科学省
4	言語障害教育の現状と課題	研究所研究職員
5	ことばの教室における子供の見方・捉え方	研究所研究職員
6	ことばの教室における子供との関わり	研究所研究職員
7	言語機能とコミュニケーション	研究所研究職員
8	コミュニケーション障害の指導	研究所研究職員
9	構音障害	研究所研究職員
10	構音障害の指導	研究所研究職員
11	吃音	研究所研究職員
12	吃音の指導	研究所研究職員
13	言語発達の遅れ	研究所研究職員
14	言語発達の遅れの指導	研究所研究職員
15	ことばの教室の役割－幼児・中学生を含めて－	研究所研究職員

*各講義は、60分程度を予定

主旨：派遣予定教職員を対象に、国立特別支援教育総合研究所ホームページに一定期間、収録講義を掲載した特設ページを開設し、オンデマンド視聴により、各地域における関係教職員の資質向上を支援する。（<https://www.nise.go.jp/nc/>）

開設期間：令和2年10月上旬～11月27日（金）（予定）

この他、受講者から質問等への対応をメールにて受け付ける。また、各障害に関する基礎的な内容については、「NISE 学びラボ」（http://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online）の活用を紹介する。